

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成29年1月27日同時配布

平成29年1月27日
国土技術政策総合研究所

地区レベルの将来人口予測ツールを作成しました

～まちの将来を見通し、コンパクトなまちづくりを推進～

国総研では、コンパクトなまちづくりを進める地方公共団体を支援するため、**将来人口・世帯予測ツール【試行版】**を作成しました。

本ツールにより、通常は高度な情報処理が必要な**小地域(町丁・字)単位での人口や世帯数の将来予測が Microsoft Excel 上で容易に行えます**。また、5歳階級別・性別の予測や、予測結果のマップ表示が可能な点も特長です。

今後は、国土交通省都市局都市計画課とも共同して本ツールの普及を図っていきます。

我が国は本格的な少子高齢・人口減少社会に突入し、これまでの拡散型の都市構造から、生活利便施設の維持やアクセス性の向上、環境負荷の低減、都市経済の生産性向上等につながるコンパクトなまちづくりが、今日の都市計画上の重要な課題となっています。

このため、国総研における研究の一環として、「小地域(町丁・字)を単位とした将来人口・世帯予測ツール【試行版】」を作成し、G空間情報センター(<https://www.geospatial.jp/>)において公表しました。

本ツールは、国土交通省都市局都市計画課とも共同して地方公共団体の都市計画部局等への普及を図るとともに、今後の改良に向け、多くの方々のご利用とご意見・ご感想を期待するものです。

■本ツールの特長

- これまで市区町村単位でしか得られなかった5歳階級別・性別人口及び世帯数の将来予測が、小地域(町丁・字)単位で可能。
- Microsoft Excel 上で操作でき、さらに、プルダウンメニュー等で簡単に操作が可能。
- 1回の操作で、市区町村内の全小地域(町丁・字)の予測が可能。
- 全国の人口データベースが付属しており、新たなデータの準備が不要。
- 予測手法も選択可能であり、各小地域の出生や社会増減の動向を独自に加味することも可能。
- 予測結果は、Microsoft Excel 上でマップ表示することが可能。
- 地理情報システム(GIS)での活用も可能で、予測結果の100mメッシュへの配分も可能。

■本ツールの入手方法

一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が運用するポータルサイト「G 空間情報センター」(<https://www.geospatial.jp/>)においてユーザー登録の上、国土交通省国土技術政策総合研究所のサイト(<https://www.geospatial.jp/ckan/organization/nilim>)から、本ツールをダウンロードして下さい。(無償にてご利用いただけます。)

(お問い合わせ先)

国土交通省 国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市開発研究室 室長 勝又 済

TEL : 029-864-2211 (内線 4521) FAX : 029-864-6776 E-mail : nil-tosikai@mlit.go.jp

小地域(町丁・字)を単位とした将来人口・世帯予測ツールのイメージ

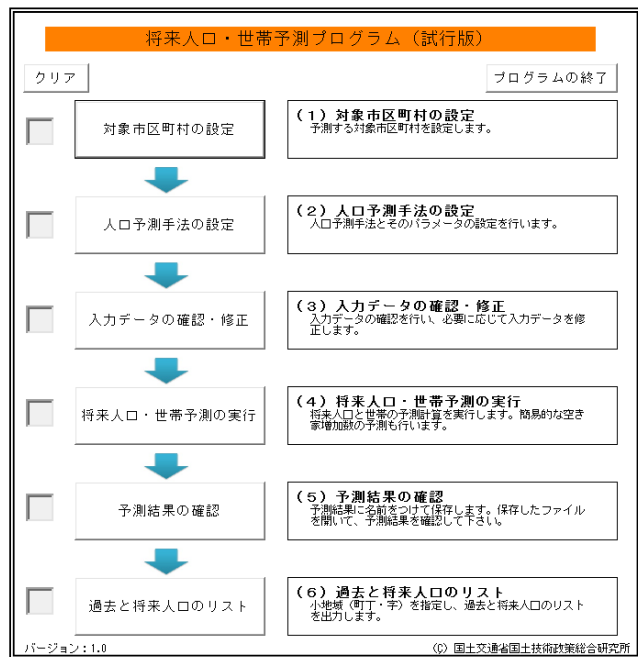


図1 将来人口・世帯予測プログラムのメインメニュー
(メニューのガイドに従って操作を進めていきます。)

<対象都市・地区の設定>

| | | |
|---|----------|---------|
| ① | 都道府県名 | 都道府県コード |
| | 北海道 | 01 |
| ② | 市町村名 | 市町村コード |
| | 選択してください | |

図2 プルダウンメニュー方式による対象都市の設定画面
(予測を行う都市をプルダウンメニューで選択します。)

<人口予測手法の設定>

コーホート変化率法かコーホート要因法のどちらかを選択し、そのパラメータ設定方法を1つ選択して下さい。

①コーホート変化率法

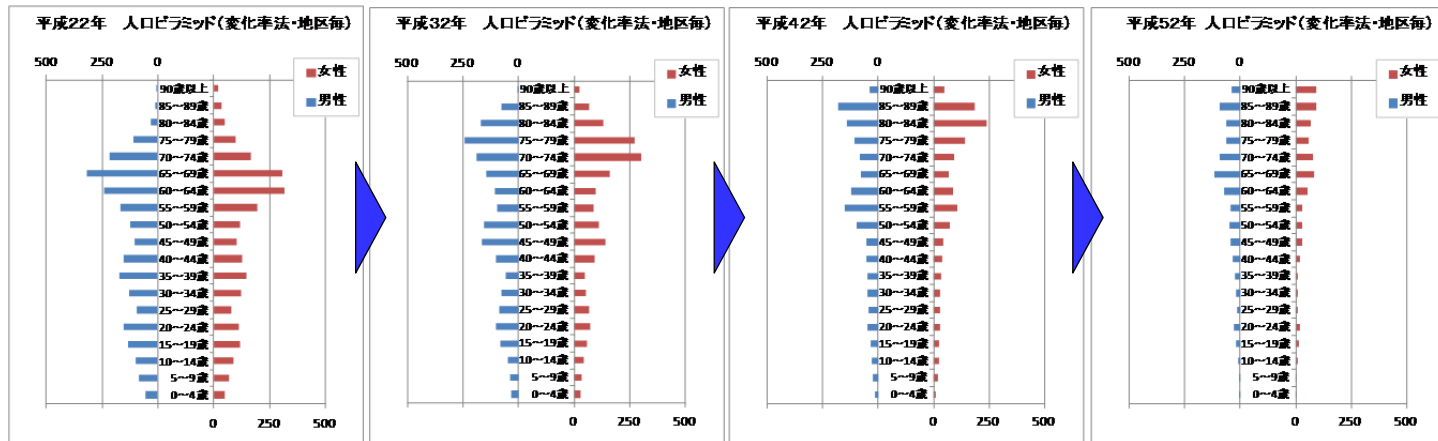
- 小地域毎のパラメータ
小地域毎にコーホート変化率および子ども女性比を算出し、これを用いて将来人口予測を行う。
- 全小地域で平均したパラメータ
小地域毎に算出したコーホート変化率および子ども女性比を、対象市区町村内の全小地域を平均し、この平均値を用いて将来人口予測を行う。

②コーホート要因法

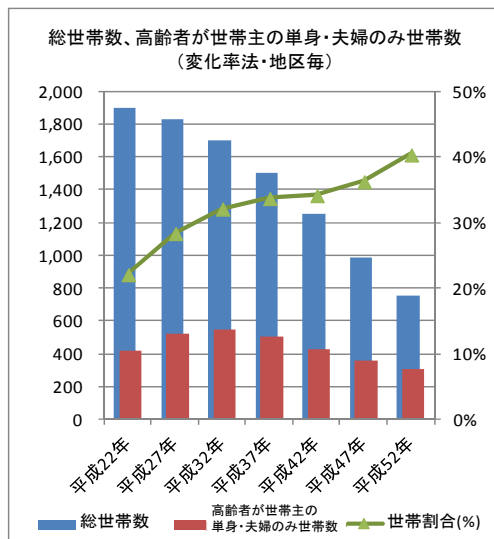
- 小地域毎のパラメータ
小地域毎に純移動率および子ども女性比を算出し、これを用いて将来人口予測を行う。
- 全小地域で平均したパラメータ
小地域毎に算出した純移動率および子ども女性比を、対象市区町村内の全小地域を平均し、この平均値を用いて将来人口予測を行う。
- 社人研のパラメータ
国立社会保険・人口問題研究所の地域別将来推計人口に使用されている原定値「純移動率」「子ども女性比」「0-4歳性比」を用いて、コーホート要因法による将来人口予測を行う。

図3 チェックボックス方式による人口予測手法の設定画面
(人口予測手法やパラメータをチェックボックスで設定します。)

本ツールによって得られた予測結果を活用すれば、小地域(町丁・字)単位で、例えばこのようなグラフやマップを作成することなども可能です。



<人口ピラミッド>



【小地域(町丁・字)単位】

